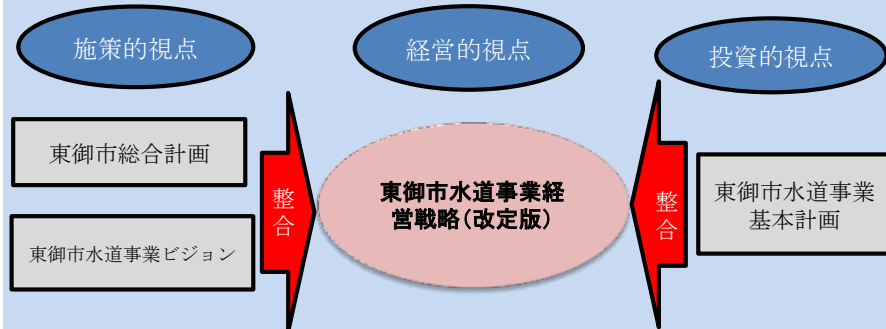


東御市水道事業経営戦略(令和6年度改定版) 概要①



1. 経営戦略改定の背景及び基本的な考え方

- ・経営戦略は、平成31年3月に策定し、策定から5年が経過する。
- ・国より令和7年度までに戦略の見直しが求められている。
- ・関連計画と整合を図り、中長期的な事業運営の方針を示す経営の基本計画として位置づける。
- ・計画期間は、令和7年度(2025年)～令和16年度(2034年)とする。



2. 水道事業の概要

- ・東御市の水道事業は、旧北御牧村の佐久水エリア、小諸市上水道エリアを除き、全て上水道となっている。
- ・水道料金は基本料金と超過料金からなっており、金額は令和元年10月の消費税率引上げ時の改定以降から変わっていない。

R6.3.31時点

水源	湧水	10箇所
	深層地下水	19箇所
	その他(浄水受入)	1箇所
浄水場設置数		22箇所
配水池数		37箇所

3. 今までの検証と現状分析

【経営戦略の検証・分析】

- ・収益的収支: 当年度純利益は計画値より実績値が上回る。
 - ・資本的収支: 「資本的収入額が資本的支出額に不足する額」が計画値より抑制できた。
- ⇒水道事業全体として、健全な運営ができた。

【経営比較分析表の検証】

経常収支比率	: 高	⇒ ○	・流動比率は平均を下回っているものの、一定の基準となる100%を大きく上回っている。
累積欠損金比率	: 低	⇒ ○	
流動比率	: 低	⇒ △	
企業債残高対給水収益比率	: 低	⇒ ○	
料金回収率	: 高	⇒ ○	・他の指標は平均より良く、比較的健全度の高い経営が図られている。
給水原価	: 低	⇒ ○	
施設利用率	: 高	⇒ ○	
有収率	: 高	⇒ ○	
有形固定資産減価償却率	: 高	⇒ △	給水施設の有効活用が図られている。施設の稼働に対し、効率的に収益化されている。老朽化が早いので、計画的に更新を行う必要有。
管路経年化率	: 低	⇒ ○	
管路更新率	: 低	⇒ ○	

【「投資・財政計画」の計画値と実績値の乖離】

(単位: 千円)

予算	項(目)	計画値 (H31～R5合 計)	実績値 (H31～R5合 計)	乖離	年平均乖 離	乖離率
収益的収支	収益的収入					
	営業収益	2,990,335	2,951,774	▲ 38,561	▲ 7,712	-1%
	営業外収益	260,558	303,289	42,731	8,546	16%
	収益的支出					
	営業費用	2,463,192	2,448,706	▲ 14,486	▲ 2,897	-1%
資本的収支	資本的収入					
	企業債	101,000	250,500	149,500	29,900	148%
	他会計補助金	25,650	25,522	▲ 128	▲ 26	0%
	負担金・分担金	22,500	58,926	36,426	7,285	162%
	建設改良費	405,810	565,216	159,406	31,881	39%
資本的支出	企業債償還金	1,294,418	1,294,423	5	1	0%
	資本的収支不足額	1,551,078	1,524,691	▲ 26,387	▲ 5,277	-2%

【経営比較分析表: 類似団体比較】

経営指標	東御市(R4)	類似団体平均 (R4)	R1～R4対平均 の傾向
経常収支比率(%)	118.56	105.92	高
累積欠損金比率(%)	0	7.78	低
流動比率(%)	251.21	364.46	低
企業債残高対給水収益比率(%)	232.16	403.72	低
料金回収率(%)	119.82	92.17	高
給水原価(円/㎡)	163.41	188.51	低
施設利用率(%)	70.40	55.31	高
有収率(%)	85.00	80.36	高
有形固定資産減価償却率(%)	61.82	52.2	高
管路経年化率(%)	14.82	20.73	低
管路更新率(%)	0.27	0.50	低

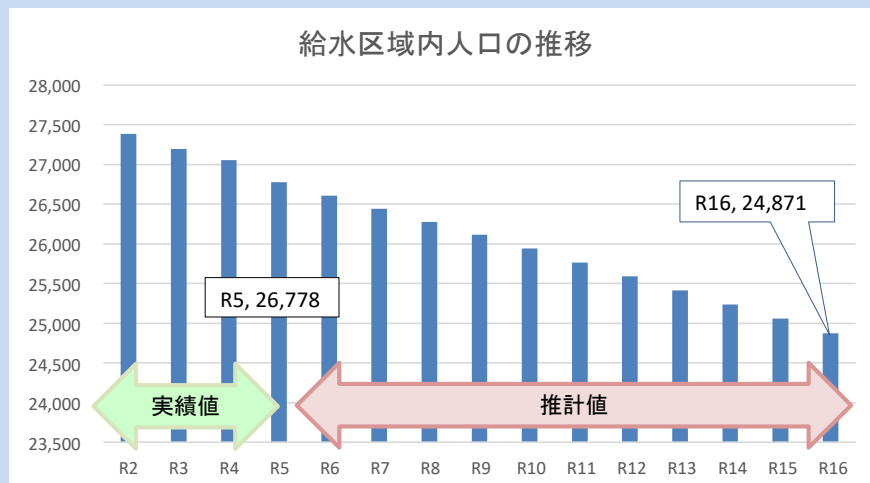
東御市水道事業経営戦略(令和6年度改定版) 概要②



4. 将来の事業環境

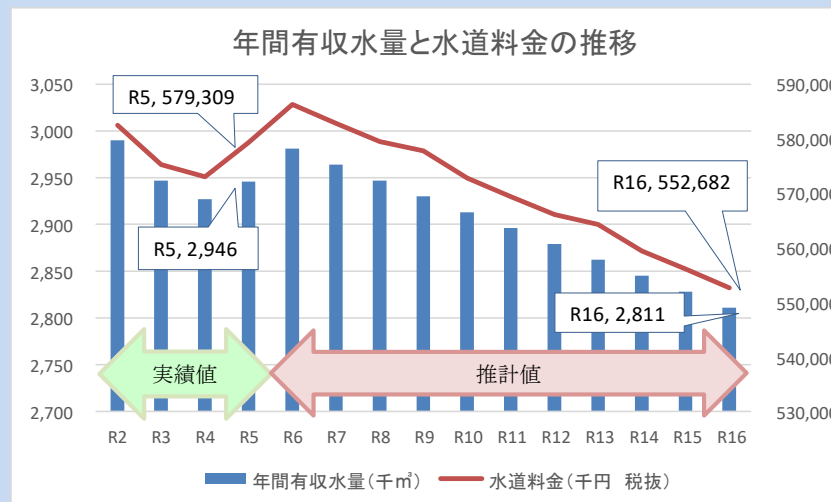
【給水区域内人口の予測】

・給水区域内人口: 令和16年度には約7.1%減の見込み。



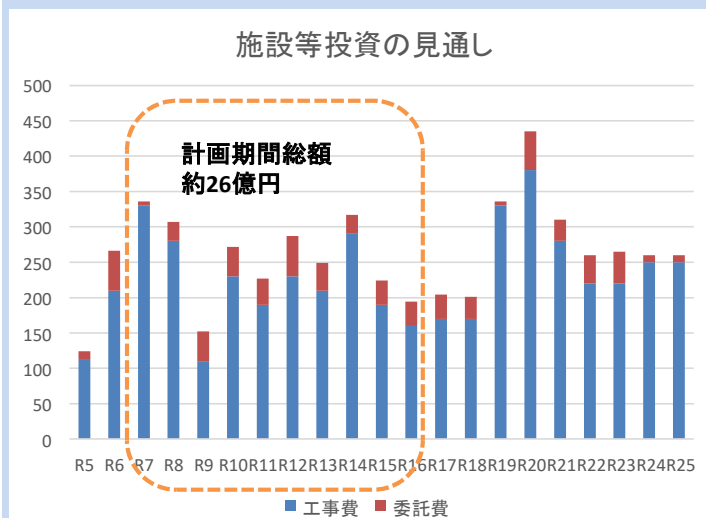
【年間有収水量と水道料金の見通し】

- ・年間有収水量: 将来的に減少の見込み。
- ・水道料金: 将来的に減少の見込み。(R5⇒R16 △2,660万円)



【施設等投資の見通し】

・計画期間中(R7～R16)の10年間で約26億円の投資見通し。



5. 経営の基本方針

・経営面と投資面の両輪を一体で管理運営することで、持続可能な水道事業を運営する。

【基本方針1】
水道水の安全
～安全で安心な水の確保～

- 【施策1】水質管理の徹底
- 【施策2】水源保全対策の強化

【基本方針2】
水道水の整備
～強靱な水道施設の構築～

- 【施策1】水運用の効率化
- 【施策2】計画的な水道施設の更新
- 【施策3】災害対応の強化

【基本方針3】
水道事業の持続
～持続可能な事業運営基盤の確立～

- 【施策1】健全な水道経営の維持
- 【施策2】水道技術の継承
- 【施策3】利用者へのサービス充実
- 【施策4】水道事業基盤の強化

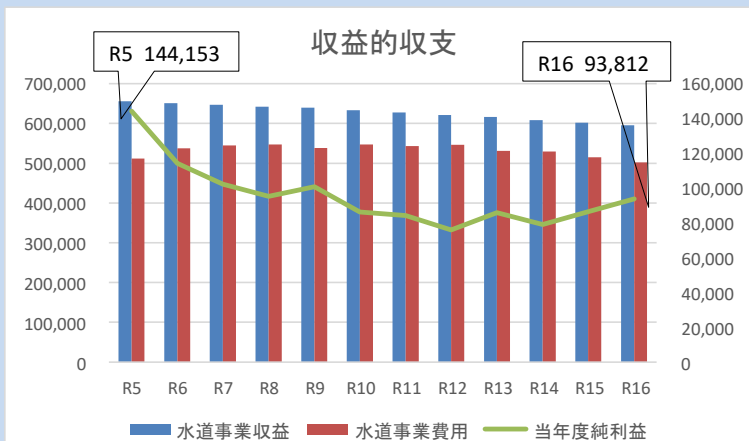
経営目標値

経営指標	基準値 (令和5年度)	目標値 (令和16年度)
施設利用率(%)	70.66	算 定 中
管路更新率(%)	0.20	
経常収支比率(%)	128.48	
料金回収率(%)	129.18	
企業債残高対給水収益比率(%)	205.67	

6. 投資・財政計画

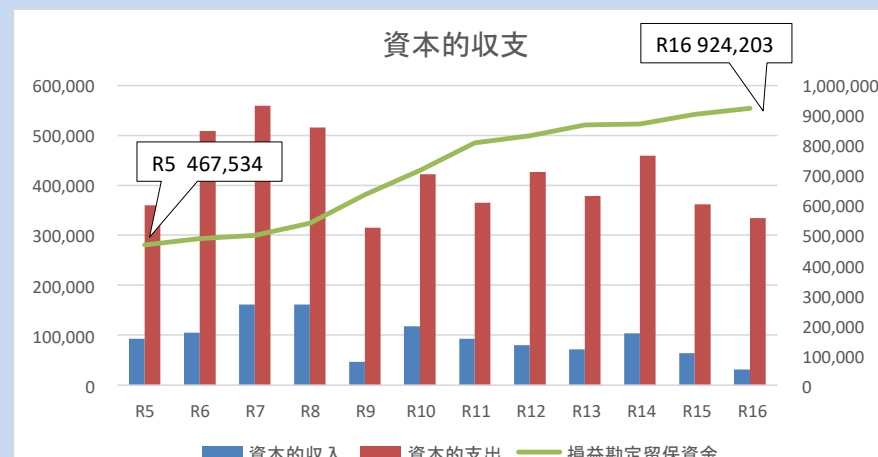
【収益的収支について】

- ・毎年黒字となる見込み。(収益>費用)
- ・当年度純利益は、毎年7千万円以上を維持する見込み。
(R5: 144,153千円⇒R16: 93,812千円)



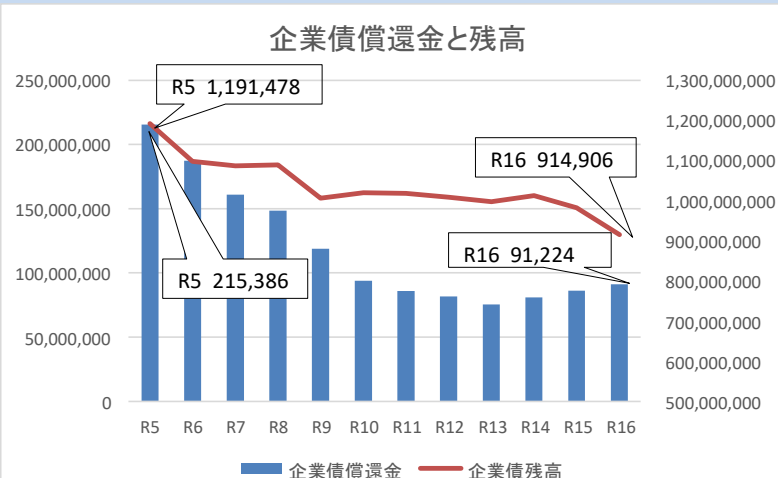
【資本的収支について】

- ・企業債償還金の減少に伴い、支出は減少する見込み。
- ・資本的収支不足額は、損益勘定留保資金等により補てんできる見込み。
- ・損益勘定留保資金残高は、充分確保できる見込み。
(R5: 467,534千円⇒R16: 924,203千円)



【企業債償還金と残高について】

- ・企業債償還金は、年々減少する見込み。
(R5: 215,386千円⇒R16: 91,224千円)
- ・借入と償還額の調整を行うことで、企業債残高は微減する見込み。
(R5: 1,191,478千円⇒R16: 914,906千円)



8. 事後検証、更新等

・PDCAサイクルにより、経営目標の達成度や事業の進捗状況を定期的に評価・検証する。

・毎年の評価結果を上下水道事業運営審議会に諮ってご意見を賜り、HPで公表する。

・令和11年度に改定予定(その後も5年毎の改定予定)。

・経済、社会情勢の急激な変化により著しく現状とかけ離れる場合には随時見直す。

